

## 幸町地区総合整備について

### 1 幸町地区の概要

幸町地区（※）には、戦前は海軍の下士官兵集会所として、戦後は海上自衛隊の福利厚生施設として多くの方に親しまれてきた青山クラブ・桜松館を始めとして、国の重要文化財である旧呉鎮守府司令長官官舎や呉市の歴史資料を展示している歴史民俗資料館等がある呉市入船山記念館（以下「入船山記念館」といいます。）、呉市の芸術の拠点としての役割を担ってきた呉市立美術館（以下「美術館」といいます。）があり、市民や観光客が歴史・文化・芸術に親しむことができる地区となっています。

（※）青山クラブ・桜松館、入船山記念館及び美術館が立地する地区

【位置図】 ※地区面積：22,759㎡（呉市公有財産台帳による）



## 2 各施設の概要と現状

| 施設名                        |                 | 建築年     | 延べ面積                    | 現状   |
|----------------------------|-----------------|---------|-------------------------|--|
| ①青山クラブ                     |                 | 昭和 11 年 | 10,927.2 m <sup>2</sup> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦前は、海軍の下士官兵集会所として、戦後は海上自衛隊の福利厚生施設として使用された歴史がある。</li> <li>・建物が耐震基準を満たしていないため、耐震診断やニーズ調査等を行いながら、これまで活用方法についての検討を進めてきた。</li> <li>・施設の一部が土砂災害特別警戒区域内にあるため、対策を講じる必要がある。</li> </ul>  |
| ②桜松館                       |                 | 昭和 4 年  | 1,963.7 m <sup>2</sup>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦前は、海軍の講堂として、戦後は海上自衛隊呉音楽隊の庁舎として使用された歴史がある。</li> <li>・建物が耐震基準を満たしていない。</li> </ul>   |
| 入<br>船<br>山<br>記<br>念<br>館 | ③旧呉鎮守府司令長官官舎    | 明治 38 年 | 527.1 m <sup>2</sup>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 4 年から 3 年掛けて、解体と復原修理を実施した。</li> <li>・平成 10 年に国の重要文化財に指定された。</li> </ul>  |
|                            | ④歴史民俗資料館（近世文書館） | 昭和 61 年 | 484.8 m <sup>2</sup>    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築・整備をしてから長期間が経過しており、施設・設備が老朽化している。</li> <li>・呉市の歴史資料を展示しているが、展示設備等が老朽化している。</li> <li>・資料の収蔵スペースが不足しており、資料が分散している。</li> </ul>  |
|                            | ⑤郷土館            | 昭和 54 年 | 358.4 m <sup>2</sup>    |  |
|                            | ⑥ 2 号館（収蔵庫）     | 昭和 42 年 | 76.3 m <sup>2</sup>     |  |
| 美<br>術<br>館                | ⑦本館（展示室）        | 昭和 57 年 | 2,790.9 m <sup>2</sup>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、文化の発展に資するための施設として、美術品の収蔵・展示や教育普及活動に取り組んでいる。</li> <li>・本館は、開館から 40 年が経過し、施設・設備が老朽化しており、「呉市公共施設に関する個別施設計画（令和 3 年 3 月策定）」では、令和 14 年度に建替えという方針が示されている。</li> <li>・本館の一部（屋根）が耐震基準を満たしていない。</li> <li>・収蔵・展示スペースが不足している。</li> <li>・本館（展示室）と別館（収蔵庫）が離れており、運用上の課題がある。</li> </ul> |
|                            | ⑧別館（収蔵庫）        | 平成 5 年  | 781.7 m <sup>2</sup>    |  |

### 3 幸町地区総合整備の基本的な考え方

幸町地区の歴史的経緯等を踏まえ、同地区を「歴史及び文化・芸術の拠点」として再整備を行うことによって、エリア全体の魅力を高め、市内の回遊性の向上につなげ、多くの観光客が訪れるにぎわいを創出するとともに、市民が普段から利用（活動・交流）できる地区となるよう、幸町地区の総合整備について一体的に検討を進めていきます。

### 4 幸町地区総合整備の方向性

幸町地区全体のコンセプトとともに、各施設の在り方（コンセプト・機能等）を再整理し、各施設に付与する役割・機能や配置等を検討し、幸町地区全体として観光客・市民の利用増加を図り、新たなにぎわい創出の拠点として整備を行います。

#### (1) 検討する機能

青山クラブ・桜松館については、歴史的経緯を踏まえ、呉の歴史・文化・芸術を学び、感じることができる場としての機能について検討します。

入船山記念館については、呉市の重要な財産（文化財）として、引き続き、適切に保存するとともに、施設の魅力向上について検討します。

美術館については、本館と別館の機能の集約も含め、施設の魅力向上について検討します。

市民が集うことができる文化活動・交流の場としての機能について検討します。

民間事業者の活力を活用した新たなにぎわい創出の機能（物販、飲食、宿泊など）について検討します。

#### (2) 回遊性の向上に対する考え方

エリア内の各施設の周遊や、エリア内の散策が可能となるルート（遊歩道等）の整備を行うなど、幸町地区内の各施設の連動性及び観光客・市民の回遊性の向上を図ります。

また、各施設及びエリア全体の魅力を高め、観光客の大和ミュージアム、呉駅、中央地区商店街等との回遊性の向上を図ります。

#### (3) その他

幸町地区の総合整備に当たっては、入船山公園（市民広場）におけるスポーツ施設の移転・再配置の検討状況を踏まえ、検討を行います。

## 5 幸町地区総合整備の検討体制

(仮) 幸町地区総合整備検討有識者会議を設置し、各施設の在り方や建物活用等について専門的な見地から検討を行い、エリアデザインの取りまとめを行います。これを踏まえ、幸町地区総合整備方針を策定します。

### 【有識者会議構成案】

- ・ 建築，都市計画及び歴史・文化・芸術の各分野の学識経験者等（広島大学，呉工業高等専門学校等，地元の教育研究機関を中心に選定）
- ・ 物販，飲食，宿泊等についての専門家
- ・ 市民団体の代表者
- ・ 海上自衛隊呉地方総監部

※幸町地区の歴史的経緯等を踏まえ、各施設に持たせる機能や整備内容（建物の全部保存，一部保存，建替え，建物の改修方法）等を専門的な見地から検討します。

## 6 スケジュール案（検討内容など）

| 令和4年度 | 令和5年度  | 令和6年度  |
|-------|--|--|
|       | (仮) 幸町地区総合整備検討有識者会議  |  |
|       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○幸町地区全体のコンセプトの検討</li> <li>○各施設の在り方（コンセプト・役割・機能・配置等）の検討</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○幸町地区のエリアデザイン（整備・活用方針）の取りまとめ</li> <li>○幸町地区総合整備方針の策定</li> </ul> |
|       | ○行政報告<br>検討状況の<br>中間報告   | ○行政報告<br>エリアデザインの<br>報告  |